

○ カロニン（栝楼仁）

語源

カラスウリ属の *Trichosanthes* は、ギリシャ語 トリクス「毛」＋アントス「花」から。花冠の先が糸のように細裂するため。種小名 *kirilowii* は、ロシアの植物学者であるキリロフ Ivan Petrovic Kirilow (Ivan Petrovich Kirilov) にちなんでいる。栝楼根の栝楼とは、*Trichosanthes kirilowii* Maximowicz (トウカラスウリ) を意味する中国名。



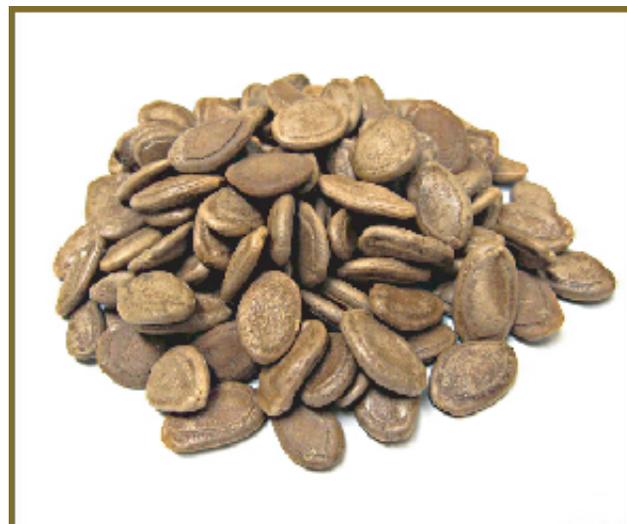
photo by Michael Wolf CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

基原

Trichosanthes kirilowii Maximowicz
トウカラスウリ
Trichosanthes kirilowii Maximowicz
var. *japonica* Kitamura キカラスウリ
Trichosanthes bracteata Voigt
オオカラスウリ
ウリ科 つる性多年生草本

薬用部分

種子
中国では果実全体を栝楼あるいは全栝楼、果皮を栝楼皮、種子を栝楼子と称し、区別して用いる。『傷寒論・金匱要略』の処方中に栝楼実とあるのは本来は果実のことであるが、日本では一般に栝楼仁が用いられている。



産地

中国、日本
日本産はキカラスウリ、中国産はトウカラスウリであるが、現在の日本市場ではほとんど輸入品のトウカラスウリの種子である。

主な成分

脂肪酸： リノール酸、リノレイン酸、トリコサン酸

主な薬効

消炎、去痰、通便

代表的処方

漢方では潤肺・化痰・通便・排膿の効能があり、咳嗽、粘稠痰、便秘、腫れ物、乳汁不足などに用いる。民間では尿や母乳の出をよくするためにも煎じて服用されている。

【柴 陷 湯】

サイカントウ
体力中等度以上で、ときに脇腹（腹）からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振で口が苦く、舌に白苔が付き、強いせきが出てたんが切れにくく、ときに胸痛があるものの次の諸症： せき、胸痛、気管支炎
（処方内容） 柴胡／半夏／黄芩／大棗／人参／甘草／生姜／栝楼仁／黄連

【栝楼薤白 白酒湯】

カノウガイハクハクシュトウ
背部にひびく胸部・みぞおちの痛み、胸部の圧迫感に用いる
（処方内容） 栝楼実（栝楼仁）／薤白／白酒（日本酒）

【栝楼薤白湯】

カノウガイハクトウ
背部にひびく胸部・みぞおちの痛み、胸部の圧迫感に用いる
（処方内容） 栝楼仁／薤白／十葉／甘草／桂皮／防己

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方外生薬規格」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「漢薬の臨床応用」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp